

# 感染状況・医療提供体制の分析(2月23日公表)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細  
➔



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③、④は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (2月16日公表) 2月5日～2月11日	現在の数値 (2月23日公表) 2月12日～2月18日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 <small>(注: 報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)</small>	報告数	1,000人	862人	➔	<b>レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要</b>  定点当たり患者報告数は <b>10.26人</b> と減少。医療機関や施設などでのクラスターは継続。インフルエンザ患者数は前週とほぼ同数(定点当17.40人)、 <b>インフルエンザ警報発令中</b> 。 全国的にも岡山でも新型コロナウイルス感染はやや減少も、感染者は依然として多い。体調不良時は人と会うのを控えるといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要。無料接種の期間も3月末までとなり、重症化リスクのある方は、ワクチン接種が推奨される。
		定点当たり数	11.90人	10.26人	➔	
		報告数に占める60歳以上の割合	22.5%	27.6%	➔	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 <small>(注: 定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)</small>	岡山市保健所	9.64人	7.05人	➔	
		倉敷市保健所	13.81人	13.31人	➔	
		備前保健所	7.73人	6.73人	➔	
		備中保健所	16.08人	13.58人	➔	
		備北保健所	13.00人	10.17人	➔	
		真庭保健所	8.33人	15.00人	➔	
		美作保健所	15.50人	12.40人	➔	
医療提供体制	③ 入院報告数	402人	335人	➔	<b>レベル3. 体制逼迫状態は緩和の兆候があると思われる</b>	
	④ 重症者数	8人	5人	➔	入院例やや減も、医療機関や高齢者施設などでのクラスターも継続し、一般医療や救急医療への影響も出ている。ハイリスク患者の早期診断・早期治療が必要。	